

第1学年通信 「青」

令和3年1月16日(土)発行
多摩市立聖ヶ丘中学校
第1学年
第35号

サバ飯で みんな協力 よかったな

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。新年が始まり、学校も8日から始まりましたが、感染者数の増加に伴って緊急事態宣言が発出され、予断を許さない状況が続いています。1月の生活目標では、『お互いに1m以上確保し「密」をさけよう』となっているように、学校生活においても今一度、意識を高める必要があります。ご家庭におかれましても、毎朝の健康観察、健康チェックカードのサインなどご協力よろしくお祈いします。

今週の金曜日にはサバ飯(サバイバル飯炊き術)を実施しました。牛乳パックの燃料をくべながら、1時間ほどでご飯が炊き上がり、おいしくいただくことができた人もいたようです。今回は災害用備蓄米を使用しました。このお米は無洗米で、研ぐ必要がありません。もしもの時は断水も考えられます。不測の事態も普段から考えておく必要があるなと実感しました。以下に生徒の感想を紹介します。

「サバ飯」を体験した感想

自分が思っていた以上に大変な作業で、火の扱いがとて難しかった。少し目を離すだけでも火が消えてしまったり、燃料が足りなくなったりと予想外のことがたくさんあった。それでも友達と協力しながら活動できた。友達がいなければご飯を炊くことができなかったの、実際の災害時にも人と協力して助け合うことが大切なのだとわかった。

味はサバ飯の方がおいしかったし、作っていて楽しかった。しかし、時間もかかり、量も多くないので、日頃から使っている炊飯器、水道の大切さがわかった。自分で作ってみて、できた時の達成感があり、やっていて楽しかったの、やってよかったと思えた。

燃料をたくさん使って火を維持することがとて楽しかった。順序良くこなしていくことが非常に大切だということがわかった。お米が炊き上がる時の「パチパチ」という音が聞けなくて残念だった。味もおいしくできなかったがおもしろかったの、プラマイゼロ!!



裏面もあります

いつもは炊飯器にお米と水を入れてスイッチを押すだけでおいしくご飯が炊ける。今回は少し固くなってしまったけど、自分で炊くといつもよりおいしく感じた。友達と一緒にご飯を炊くことができたととても楽しかった。

アルミ缶がくずれて、お米を炊くことができなくなってしまう事態になったときは、余っている缶を分けてくれたり、燃料と一緒に管理してくれたり仲間が助けてくれた。感謝しかない。助けてくれたり、協力してくれたりしたことはとてもよい経験になった。

サバ飯は天候に左右されるためとても難しいと感じたが、なんだかんだ言って楽しかった。自分で炊いたご飯はおいしくなかったのですが、その後にアルファ米を食べたら少しおいしく感じた。それとともに、給食のありがたさに気づけた。これからは給食に感謝して食べようと思う。

缶を切ってご飯を炊くなど、普段の生活では絶対にしないことをして、難しいこともあったけれど、友達と協力して楽しく活動できた。特にご飯を炊いているときが一番楽しく、火が消えないように一生懸命燃料を入れたり、完成したときのことを考えたりしていた。災害がおきたときのことを考えると、こうした体験は大切だと思った。

とっても楽しかった！意外としっかり、早く、多く燃料を入れなさいといけないことがわかった。調子に乗って1度にたくさん燃料をいれると、火が強くなり、缶がとけてしまうこともわかった。

しっかり炊けていなかったのが少し白く、固かったりもして、なんだか不思議な風味がした。達成感を味わえたので自分で作ることができてよかった。

サバイバル 大変だけど 楽しいな

サバ飯で みんな協力 よかったな

準備とか 長かったけど サバ飯で みんな協力 できてよかった



来週の予定

日付 \ 時間	1	2	3	4	5	6	7	備考	給食
18日(月)	学	②	③	④	⑤	⑥	⑦	生徒会朝礼	○
19日(火)	道	②	③	④	⑤	⑥	⑦		○
20日(水)	①	②	③	④	⑤	総			○
21日(木)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		○
22日(金)	①	②	③	総	総	⑥	総		○